



道徳だより

令和3年4月

～夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校～



心を育てる道徳の授業

お子様の入学・進級、おめでとうございます。スタートを切った初日は、どの子も新しい学年、新しい学級に胸をどきどきさせながら、登校したと思います。夢をいっぱい詰め込んだランドセル。背中よりも大きいランドセルが、いつしか小さくなっていきます。「道徳授業」での6年間が、子供たちにとってかけがえのない時間となり、心を育む手立てとなればと願っております。

さて、上里東小学校では、「道徳科だより」を発行しています。これまでの道徳の時間が「特別の教科道徳」として教科化され、4年目を迎えました。「特別の教科って何?」「道徳ってどんな学習をするの?」など、学校で行っている道徳の時間の様子や子供たちの考えや感想をこのお便りを使ってお伝えできればと考えています。

昨年度の「道徳だより」を通して1年が経った今年は、さらに児童の心を育むことができる道徳科の授業を行っていきたいと考えています。また、学校だけでなく御家庭・地域ぐるみで、未来に生きる子供たちの道徳性を育てていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

5月号からは、校内で取り組んでいる道徳教育や道徳の授業の様子などを、保護者の方々に向けて定期的にお伝えする予定です。御理解と御協力をよろしく願いいたします。



道徳の時間って、どんな時間?



道徳の時間って、どんな時間だと思いますか。ずばり、道徳は心をより豊かにするための時間です。ではどのようにして心を豊かにするのでしょう。道徳の時間では、毎回一つの教材とじっくり向き合います。そして自分だったらこうすると考えながら、自分の心ともじっくり向き合います。さらに友達との意見の交流を通して、多様な考え(道徳的な価値)を深めていきます。自分の心と真剣に向き合い、自分の考え(心)をお互いに発表します。友達の考え(心)にもふれ、授業のまとめでは「今までの私はどうだったかな。これからはこうしたい。こういう人になりたい。」など心を豊かにし、そしてこれからの自分の生き方を見出していく、それが道徳です。

道徳だよりに保護者の皆様からの心に残った出来事やエピソードを掲載したいと思います。子供たちのよい言動・最近見かけた心温まる出来事・家庭での会話から等、どんなことでも結構です。(一年中、受け付けています。)また、道徳便りに名前を掲載してもよいかの記人もお願いします。各担任まで提出してください。御協力よろしく願いします。

切り取り線

心に残った出来事



年 組 児童名 ()
*名前を掲載 (する・しない)

